

東京高井戸ライオンズクラブ 2007年度 所信

2007年7月吉日

東京高井戸ライオンズクラブ 会長 藤本 和夫

歴史あるまた、優秀な人材を輩出しております東京高井戸ライオンズクラブにおきまして今期会長職を努めさせていただけることになりました藤本和夫です。私に取りまして大変名誉なことでありますし、まだまだ未熟で若輩者の私が諸先輩の様に滞りなく会を運営することが出来るかいささか不安なところが有りますが皆様のお力と、ご協力の程一年間宜しくお願いできればと思います。

「ライオンと呼ばれる人」にありますように
事業を成功に導き、善良な生活を楽しみ
常に微笑みをたたえ、人類を愛し
知識人の尊敬を集め幼児たちに親しまれる人

そのようなライオンと呼ばれる人を目指したいと考えます。

私はまだ自立しておりませんので、医療人として経済的基盤を確かなものとし、その上にたって社会に奉仕し感謝を持って社会に還元できればと考えております。一番大切な家族を大事にし、隣人を愛し、日本を愛し、人類を愛しすべての生き物を愛し、幸せな共存共栄の社会が実現することを願っております。

百鬼夜行の昨今ですが自己研鑽に励み知識を豊かなものとし科学的な根拠に基づき、感情的に振る舞うことなく人生を豊かに、また、ライオンズライフを豊かに送ればと思います。

「不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。」
を常とし道徳的水準を高めて行きたいと思えます。

歴代の会長によりクラブの改革が行われましたが、これを継続しより一層無駄を省き少人数でも運営可能な小回りのきくクラブにしたいと思えます。
地域に役立つ高等専門職の集まったクラブでも有りますので

2007年度は、厳しい環境の中クラブの英知を結集し

「奉仕を成し遂げる技能と忍耐」

をクラブスローガンとして運営出来ればと思えます。

これから一年間皆様方のご協力とご指導の程宜しくお願いいたします。